

自 己 評 価				学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評 価		
	(全校レベル)	評価指標	評価指標の達成度	総合評価・所見	
生徒の視点に立った「わかる授業」と家庭学習の充実	1 学習指導の充実 ・生徒の学習意欲を喚起し、主体的に学習する習慣の定着を図る。 ・基礎・基本の確実な定着と応用力の育成及び個性を生かす教育の充実を図る。	[教務課] ・科目による展開授業を各学年15講座実施 (R1 1年22 2年19 3年23 ) ・生徒の授業満足度91%以上(R1 全体平均90.5%)			
		[進学課] ・学習の日における学習時間 学年+1時間 (R1平均学習時間 1年:2.31時間・2年:2.15時間)			
		[学年] ・基礎・基本となる力の定着の目安として、丁寧な教科指導の結果としての欠点科目数の減少に努める。 ・自主学習時間の確保に結びつくよう、年間3回は取り組み内容を確認・評価する。 ・学年会を各学期に2回以上実施する。 ・学年集会を各学期に2回以上実施する。			
	(下位組織レベル)	活動計画	活動計画の実施状況		
	[教務課] ・教師の授業力向上のための公開授業、教職員による検討会の実施	[教務課] ・アクティブラーニング週間、公開授業週間を年間2回実施 ・授業改善や学習評価等について協議する教科会を年間5回実施			
	[進学課] ・学習習慣の定着 ・高大接続改革の情報共有と進学行事の精査や改訂	[進学課] ・「学習の日」の設定と学習時間調査の実施 ・教職員共有フォルダや職員会議等の機会を利用した高大接続改革の情報共有 ・授業数増、内容充実に伴う早期補習の廃止 ・一斉テストの精選と新テストをふまえた問題作成			
[学年] ・課題(日々のプリント、週間プリントなど)の有効利用 ・予習→授業→復習のサイクルを習慣化による、学習内容の定着	[学年] ・課題の確認(評価を段階的にする) ・「為せば成るノート」で学習時間を確認し、生徒一人一人に学習習慣の定着を徹底させる。 ・「為せば成るノート」を活用した面談を年間5回以上実施する。				

自 己 評 価				学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策	
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評 価	学校関係者の意見		
生徒の視点に立った「わかる授業」と家庭学習の充実	(全校レベル)	評価指標	評価指標の達成度	総合評価・所見		
	1 学習指導の充実 ・生徒の学習意欲を喚起し、主体的に学習する習慣の定着を図る。 ・基礎・基本の確実な定着と応用力の育成及び個性を生かす教育の充実を図る。	[教科]	[教科]			
		1)国語 ①週3回の課題提出率90%(R1 85%) ②取り組み方により5段階に分けての評価と合わせて観点別評価の導入 ③小テストの定着率95%(R1 90%)				
		2)地歴・公民 ①小テストの正答率80%(R1 80%) ②小テストの定着率95%(R1 95%)				
		3)数学 ①週プリントの提出率90%(R1 90%) ②週明けテストの実施と再テスト合格率95%(R1 94%)				
		4)理科 ①実験・観察等を入れるなど日常生活と関連を図ることができる内容の授業を年間3回以上実施。(R1 3回以上) ②小テストの定着率90%				
	5)英語 ①各提出物の提出率90%以上(R1 85%) ②語彙力・文法力テストの正答率70%以上(R1 66%)					
	(下位組織レベル)	活動計画	活動計画の実施状況			
	[教科] ○基礎・基本の徹底と定着 ○学習指導法の改善	[教科]	[教科]			
	1)国語 ・言語に関する知識・理解の深化 ・思考を深める力の育成 ・読む・書く力の向上	1)国語 ①各単元・授業で思考を問う発問を課す ②評価のフィードバック ③観点別評価を行う				
2)地歴・公民 ・わかる授業の実践 ・基礎・基本の徹底	2)地歴・公民 ①小テストの実施 ②共通テスト対策に取り組ませる。					
3)数学 ・他者と考え方を共有できる授業実践 ・見通しが立った学習習慣の確立と定着	3)数学 ①週プリントの配付とフィードバック ②週明けテストの実施 ③理解を促す教材の作成					
4)理科 ・論理的思考力の育成 ・基礎的・基本の定着	4)理科 ①実験・観察のレポートや関連するワークシートに取り組ませる。 ②小テストの実施					
5)英語 ・家庭学習習慣の確立 ・基礎・基本事項の定着	5)英語 ①語彙・文法・読解の課題を与え、定期的小テストを実施し、事後指導をする。 ②定期的にパフォーマンステストを実施する。					

自 己 評 価				学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評 価	学校関係者の意見	
	(全校レベル)	評価指標	評価指標の達成度	総合評価・所見	
生徒個々の進路希望を実現するための情報提供及びキャリア教育の推進	2 進路指導の充実 ・進路への興味関心を喚起し、将来を見据えた望ましい職業観・勤労観を養う。 ・生徒の多様な能力、適性、進路希望に応じた、系統的・組織的な進路指導に取り組む。	[進学課] ・高大接続改革の情報共有や、生徒の学習・進路意識を喚起する集会を、各学年2回以上実施 ・共通テスト出願率65%以上(R1 出願率61.1%)			
		[就職課] ・公務員説明会を生徒の希望職種ごとに各1回以上開催すると共に、校外での説明会に積極的に参加させる。 ・2年生対象に本校主催のインターンシップを実施し、進路決定に関する意識の向上のため10名以上(R1 計6名)の参加者を目指す。			
		[キャリア形成支援課] ・総合的な探究(学習)の時間の生徒の満足度83%以上(R1 82.8%) ・理数科学科の生徒の各活動に対する満足度73%以上(R1 72.5%) ・キャリア・パスポートの活用率75%以上 ・ポートフォリオの活用率75%以上			
	(下位組織レベル)	活動計画	活動計画の実施状況		
	[進学課] ・進路選択に関する生徒・保護者への情報提供の充実 ・全教職員が一丸となった組織的かつ手厚い進路指導の実施	[進学課] ・学年やPTAと連携した進路保護者会等を学年毎に開催 ・進路だよりや学校HPの活用による情報発信 ・1・2年生の進路指導と3年生の受験指導に教職員全員で取り組む			
	[就職課] ・就職への情報源として説明会や職場見学に加えてインターネットの活用を図る。 ・生徒のキャリア教育推進のための校外体験活動を推進する。	[就職課] ・6月以降に自衛官・刑務官・警察官等の説明会を実施する。また公務員模試を実施する。 ・ハローワーク提供の高校向けインターネット求人情報を最大限に利用する。 ・生徒の希望する職種でインターンシップに協力してもらえる事業所を開拓する。			
[キャリア形成支援課] 将来への展望や社会に参画する意識を持つため、課題対応能力、人間関係形成能力、主体的に行動する能力を育成する。	[キャリア形成支援課] 総合的な探究(学習)の時間 ・フィールドワークなど生徒の探究活動への主体的な取り組みを推進 ・生徒が取り組んだ内容について、外部講師を招聘し、年間2回発表会を開催 ・キャリア・パスポートを作成、配布し、学期に2回以上生徒に記入させる。 ・ポートフォリオを学期に2回以上生徒に記入させる。				

自己評価				学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評価		
規範意識の一層の 向上とルールを守り モラルやマナーを大 切にする心、いじめ をゆるさない心の育 成	(全校レベル)	<p>評価指標</p> <p>[生徒指導課]</p> <p>1)モラルや社会的マナーの指導の強化について、生徒・保護者の肯定回答を82%以上とする。 (R1生徒81% 保護者82%)</p> <p>2)年間総遅刻数を前年に比べ10%削減する。 (全学年総数1207名 2/29までの計)</p> <p>3)交通事故報告数を前年に比べ10%削減する。 (R1報告 26件)</p> <p>4)いじめを許さない指導。いじめアンケートを年3回実施。</p>	<p>評価指標の達成度</p> <p>総合評価・所見</p>		
	(下位組織レベル)	<p>活動計画</p> <p>[生徒指導課]</p> <p>1)道徳的・社会的マナーの指導と情報モラルの育成 ①頭髪服装指導の強化 ②情報機器の安全な使用方法と個人情報の自己管理の徹底</p> <p>2)安全教育的徹底</p> <p>3)いじめ調査アンケートの実施と活用</p> <p>1)日常的に行うこととし、学校行事や学年集会では指導を徹底する。 ①頭髪服装検査(年間3回必須、全体行事前) ②ネット被害の現状等講演会の実施</p> <p>2)立哨指導の継続と安全に対する意識の変容に努める。 ①交通安全教室の開催(年1回全学年) ②各学期ごとに一斉指導を実施 ③クラス毎に年1回の交通安全ホームルーム活動を実施 ④学年集会での注意喚起 ⑤毎月20日マナーアップ活動の実施</p> <p>3)7月・12月・3月にいじめアンケートを実施し、現状把握すると共に担任面談等に活用する。</p>	<p>活動計画の実施状況</p>		

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評価	学校関係者の意見	
	(全校レベル)	評価指標	評価指標の達成度	総合評価・所見	
豊かな心を育み、幅広く調和のとれた人材の育成と人権教育活動の充実	4 人権教育の推進 ・教育活動全体を通して人権についての知識を深め、豊かな人間性や互いに尊重する態度を育成する。 ・人権尊重の精神の積極的な啓発に努め、人権意識の高揚を図る。	[人権教育課]  1)人権ホームルーム活動に対する生徒の評価で肯定回答を75%以上にする。(R1 73%)  2)「人権教育関連学校行事」に対する生徒の評価で肯定回答を75%以上にする。(R1 72.1%)  3)各教科における人権学習・人権教育を計画的に実施する。(おおむね実施)  4)生徒対象の人権教育講演会などを年2回実施し、満足度を75%以上とする。(R1 73.8%)  5)全体の人権教育職員研集会を年間1回実施する。(7月に実施)			
	(下位組織レベル)	活動計画	活動計画の実施状況		
	[人権教育課]  1)ホームルーム活動の充実  2)人権集会・人権週間へ向けての取り組みの充実  3)各教科における人権学習・人権教育の推進  4)生徒対象の人権講演会の実施  5)人権教育教職員研修の充実	[人権教育課]  1)アンケートを実施し、生徒の学びや社会の状況に合わせて資料を集めて選択し、展開を工夫する。  2)人権集会・人権週間に向け、人権委員や社会問題研究会の部員を中心とした生徒による人権問題をテーマとした展示物を作成し、啓発に努める。  3)各教科において、年度当初に立てた計画に従って人権学習・人権教育を実施する。  4)人権教育に関する講演会を5月と11月に実施する。  5)職員対象の人権教育研修会を7月に実施する。			

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評価	学校関係者の意見	
部活動のさらなる活性化を図るとともに、生徒会や各種委員会の諸活動を充実する。	(全校レベル)	<p>評価指標</p> <p>[特別活動課]</p> <p>1)部活動入部率向上を目指し、3年間の継続活動を奨励する。部活動の教育貢献度の肯定回答を生徒・保護者で80%以上とする。</p> <p>2)生徒会や各種委員会の活動を活性化。教職員・生徒の評価で肯定回答を70%以上とする。</p> <p>3)学校行事(球技大会・学校祭・予餞会など)の生徒主体での活性化を図る。教職員・生徒の評価で肯定回答を80%以上とする。</p>	<p>評価指標の達成度</p> <p>総合評価・所見</p>		
	(下位組織レベル)	<p>活動計画</p> <p>[特別活動課]</p> <p>1)定期的な部活動連絡協議会を開催し、魅了ある部活動を展開する。</p> <p>2)生徒全体への生徒会活動の広報を積極的に行い、生徒主体の活動を奨励する。</p> <p>3)各種委員会の活性化。</p>	<p>活動計画の実施状況</p>		
		<p>5 特別活動の充実</p> <p>・生徒の主体的運営を基本として、各種活動に取り組むことのできる学校行事、生徒会活動の充実を図る。</p> <p>・部活動を充実・活性化させ、生徒の精神面、体力面での成長を図るとともに、団結心や協力を育成する。</p>			

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評価		
環境問題の理解と身の回りの環境美化実践および防災意識の啓発	(全校レベル)	評価指標	評価指標の達成度	総合評価・所見	
		<p>[環境防災課]</p> <p>1)2)ゴミの分別・資源保護・清掃活動等の取り組みについて肯定回答78%以上 (R1 75.7%)を目指す。</p> <p>3)年間に防災避難訓練を2回、机下避難訓練を1回実施する。防災クラブの活動を進める。</p> <p>6 安全・環境防災の推進                      1)校内環境を整え、公共心や豊かな情操を育成する。                      2)環境にやさしい学校を目指し、エネルギーの利用や物品の使用を効果的にする。                      3)災害発生時に適切な対応ができる防災体制作りに努める。</p>			
	(下位組織レベル)	活動計画	活動計画の実施状況		
		<p>[環境防災課]</p> <p>1)環境委員会を中心にさまざまな活動を通して環境問題についての意識啓発をする。</p> <p>2)生徒会と環境委員会を中心として啓発を推進する。</p> <p>3)防災委員会の活動を通して、知識や実践力を身につける。</p>	<p>[環境防災課]</p> <p>1)保護者・生徒・職員組織で年1回除草清掃作業を行う。</p> <p>2)ゴミ分別や節電、節水、紙のリサイクル活動を推進する。</p> <p>3)防災研修会への参加や防災に関する学校行事を行う。防災クラブ活動を進め、防災掲示板等による啓発も進める。</p>		

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評価	学校関係者の意見	
運営組織の活性化と教職員研修の充実	(全校レベル)	<p>評価指標</p> <p>[情報教育課] 1)情報セキュリティおよびICT活用の研修を、月1回以上行う。</p> <p>[コンプライアンス委員会] 1)職員会議や職員朝会などの機会をとらえて全教職員に対し年間15回以上の啓発・研修を行う。 2)予想される様々なリスクに対する危機管理体制(報告・連絡・相談)を確立し、周知徹底を図る。 3)外部講師による教職員研修を年1回以上実施し、働き方改革を推進する。</p> <p>[保健厚生課] 1)教職員対象の救急救命講習を年1回実施する。 2)教職員対象の健康相談会を年1回実施する。</p> <p>[特別支援教育課] 1)特別支援教育研修を年1回実施する。 2)学校生活において心配な生徒について校内での共通理解を図る。</p>	<p>評価指標の達成度</p> <p>総合評価・所見</p>		
	(下位組織レベル)	<p>活動計画</p> <p>[情報教育課] 1)教員のセキュリティ意とICT活用意欲の高揚を図る</p> <p>[コンプライアンス委員会] 1)職員研修の充実・徹底 2)危機管理体制の確立と周知 3)風通しの良い職場環境づくりと教職員間の円滑なコミュニケーションの促進</p> <p>[保健厚生課] 1)教職員対象の救急救命講習の充実 2)教職員対象の健康相談会の実施</p> <p>[特別支援教育課] 1)特別支援を必要とする生徒や学校生活が困難な生徒へのケアを図る。</p>	<p>活動計画の実施状況</p> <p>[情報教育課] 1)毎月1回程度、Joruri掲示板などを用いて注意喚起および情報提供を行う。</p> <p>[コンプライアンス委員会] 1)年間2回以上の推進期間及び随時適切な機会を設けて、バランスのとれた研修や啓発を行う。 2)危機管理に関する具体的な事例に基づく研修を実施する。 3)在校等時間を縮減し、ワークライフバランスの推進とメンタルヘルスの保持増進を図る。</p> <p>[保健厚生課] 1)教職員対象の救急救命講習会を1学期に実施する。 2)教職員対象の健康相談会を2学期に実施する。</p> <p>[特別支援教育課] 1)職員対象の特別支援教育について理解を深める研修会を実施する。 2)特別支援の対象となる生徒について校内で共通理解を図るためケース会議を開催する。 3)必要のある生徒には、スクールカウンセリングの制度を積極的に活用し、支援していく。</p>		



令和2年度 徳島県立城北高等学校 学校評価総括評価表

自 己 評 価				学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評 価	学校関係者の意見	
学校外との交流・連携やHPによる広報活動のさらなる活性化とボランティア活動を支援する校内組織づくりの推進	(全校レベル)	評価指標	評価指標の達成度	総合評価・所見	
		[学校評価委員会] 1)保護者学校評価アンケートの回収率80%以上をめざす。(R2 76.8%)			
		[情報教育課] 1)ホームページを年250回程度更新する。 2)まなびポケットを年50回程度活用する。			
		[国際交流課] 1)県内における国際交流の活動を周知し、積極的な参加を呼びかける。 2)本校ALT(外国語指導助手)との交流を通して、県内におけるスピーチコンテストへの積極的な参加を呼びかける。			
		[特別活動課] ボランティア活動の積極的な参加を呼びかける。			
		[総務課] 1)各種PTA活動を活性化させ、PTA総会参加者を前年度より10%増加させる。 2)業務を円滑に遂行する。			
	(下位組織レベル)	活動計画	活動計画の実施状況		
		[学校評価委員会] 1)学校評価を充実させ、次年度の更なる改善に役立てる。	[学校評価委員会] 1)職員・生徒・保護者アンケート及び学校関係者評価委員会を実施する。		
		[情報教育課] ホームページおよびクラウドサービスをを用いた情報発信を充実させる。	[情報教育課] 1)ホームページの更新について、分掌や部顧問を支援し迅速な情報発信を促す。 2)まなびポケットも有効な使い方をJoruri掲示板などを用いてすべての先生方に周知する。		
		[国際交流課] 1)国際理解教育の推進 2)徳島県内におけるスピーチコンテストへの参加の促進	[国際交流課] 1)全校生徒に県内の国際交流のイベントや行事を紹介し、積極的に参加するよう呼びかける。 2)県内におけるスピーチコンテストについて、全校生徒、教職員に周知し、積極的な参加を呼びかける。		
	[特別活動課] ボランティア活動の活性化。	[特別活動課] ボランティア活動の周知。			
	[総務課] 1)PTA活動の円滑な運営と充実 2)学校行事・式典時における外部との連絡調整	[総務課] 1)PTA活動における各種連絡調整や研修などの企画提案を行う。 2)城北祭や卒業式での渉外業務を行う。			